

平成 29 年 1 月

(一社) 埼玉県建築士事務所協会
浦和支部会員賛助会員各位

(一社) 埼玉県建築士事務所協会
浦和支部 支部長 橋本健二

「川越・三芳野神社修復現場」見学会のご案内

拝啓 平素は当支部の活動にご理解・ご協力頂き誠にありがとうございます。
さて、下記の通り見学会を開催させていただきます。

塗装前、後の様子が見られる予定です。ぜひお誘い合わせの上ご参加ください。

敬具

記

日 時	平成 29 年 2 月 22 日 (水) 15 時集合
場 所	川越城本丸御殿駐車場 川越市郭町 2-13-1
見学経路	三芳野神社修理現場 ～ 川越城本丸御殿 ～ 川越市立博物館
懇 親 会	17 時～ 野草庵城下町店 (帰りは無料バスで最寄り駅まで)
会 費	1,000 円/人

申込者は下記にご記入の上、2/15 (水) まで FAX でお送りください。.....

事務所名

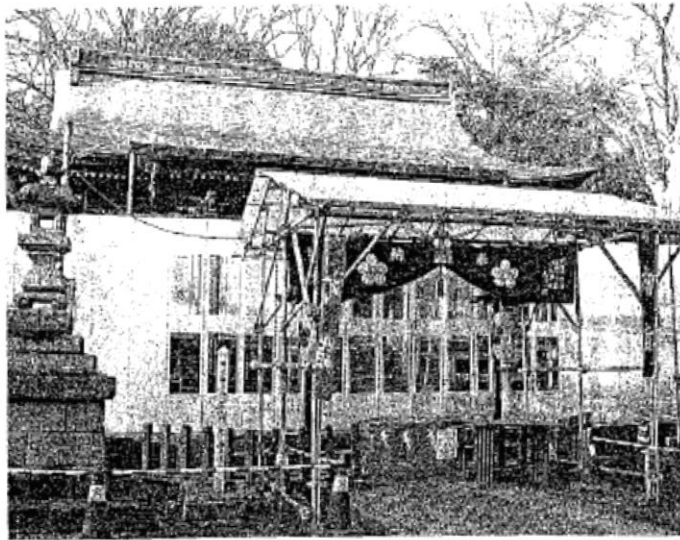
参加者名

当日連絡先 (携帯電話)

申込先 : FAX 048-873-8489 (株)高橋政雄設計事務所 宛

三芳野神社 江戸の姿に

童謡「とおりゃんせ」の舞台になったとされる川越市郭町の三芳野神社(山田積久宮司)で、大規模な改修が行われている。漆や彩色が剝がれ落ちた壁を塗り直したり、傷んだ飾り金具を修理したりして、「権現造り」の社殿(県指定文化財)の江戸時代の姿を再現させる。(鈴木肇功)



修理が始まった三芳野神社。初詣前に、仮設の参拝所が設けられた(昨年12月28日、川越市で)

「とおりゃんせ」舞台 改修 漆の塗り直しなど

同神社は807年創立と伝えられ、太田道真・道灌による1457年の河越城築城の際、曲輪内に残り、城の守護神となった。城内にある神社のため、許しがないと庶民は参詣できず、それを歌にしたのが「とおりゃんせ」だとされている。

現在の社殿は1624年(寛永元年)、3代將軍・家光の命で造営された。56年(明暦2年)には江戸城二の丸の東照宮本殿を移設したとされ、拝殿、幣殿、本殿がつながった権現造りにする大修理も行われた。その後、2回の大修理を経ている。

今回の改修は、主に屋根や柱などを補強した10889、92年の第一期に続き、「平成の大修理」の締めくくりとして、2015〜19年の予定で実施する。劣化が激しい社殿外壁は

漆、彩色ともにすべて塗り直す。保存状態の良い本殿や極彩色の部分など一部を除き、内部も塗り直す。また、クスノキの根で持ち上げられ、水はけが悪くなっていた社殿周囲の石組みの排水施設を直す。工事業者は昨年10月の入札で、日光東照宮などの漆塗り工事を手がけた佐和漆工業社(栃木県日光市)に決まった。約2億1000万円の費用は県が半額を、残りは川越市などで負担する。

地元の氏子も参加する修理工事委員会は、修理をきっかけに氏子以外にも同神社に関心を持ってもらい、広く寄付を募る考えだ。

拝殿前に仮設の参拝所が設けられており、工事期間中も「とおりゃんせ」の参道を通ってお参りできる。4月25日の例大祭などの行事も、従来通り行う。修理工事委員会事務局の森脇康行さんは「この機会に三芳野神社の歴史を知ってほしい」と話している。